

ハル女

おばあちゃん見られ雪降るどうしたもん

山なよんなる幼な児の案づこと

篠原とみ子



成人おめでとうございます

幸せの数・感謝の数

南山見公民館長 高瀬 顕正

あけましておめでとうございます。

昨年は自民党から民主党へと政権交代が起りましたが、経済不況や少子高齢化が進行する中、さまざまな事件が紙面を賑わし、世の中の動きがますますあわただしくなってきましたように思います。

さて、先進国と発展途上国の違いは、ものが豊かであるかどうかです。先進国日本に住む私たちは、豊かなものに囲まれて生きています。そしてテレビや新聞で発展途上国の人達の貧しい姿を見てかわいそうに思います。

しかし、しあわせという尺度で見るとどうでしょうか。かつてノーベル平和賞を受賞したインドのマザー・テレサが来日したとき、次のように語りました。

「日本人はこんなに豊かなのになぜみんな暗い顔をしているのでしょうか。インドの人達は貧しいけれど、みんな明るい顔をしています」と。

不思議なことに、発展途上国ほど国民の顔が明るく、先進国ほど暗いのは事実なのです。このことは、ものの豊かさだけからは、決して真の幸福は得られないことを教えてくれています。

ものの豊かさや引き換えに私たちが忘れてしまったものは、感謝の心です。何でも当たり前になつて喜びの気持ち起きなくなっているのです。

幸せの数は感謝の数。今年はこのことを心に刻んで、一年を生きていきたいと思います。

寅年の

新年を迎えて



今年がんばりたいこと

徳成 百香

(平成10年生)



私は、今、五年生なので六年生にむけて、

がんばっています。はじめのころは、先生に注意されていたときもあつて、六年生をみると、先生に注意されていたこと、高学年として、私達が低学年の人たちに、みならつてもらえるようにがんばりたいです。私は、習字をならつていて、初めて入ったときは、まだ慣れなくて、なおされてばかりで、自分でも、気に入った字が書けなかつたので不安でした。ほかのみんなは、とても字がきれいだったので、私もがんばっています。今はもう慣れてきて、友達や家族に、字がきれいだねと言われたのでとてもうれしかったです。

す。今年だけではなく、これからもずつとがんばっていきなと思ひました。

日々前進

林 絵梨子

(昭和61年生)



昨年の春から社会人として働いて

仕事ではまだわからないことも多く、先輩方に助けていたのですが、日々取り組んでいます。今年、自分自身を成長させ、先輩に少しでも近づけるよう日々努力していきたいです。まだまだ未熟な私ですが、家族や周りの多くのお世話になつている人達へ、感謝の気持ちを形にしていきたいと思ひます。そして、色々なことにチャレンジし、視野を広げ、充実した一年を過ごしたいと思ひます。

これから

武田 毅

(昭和49年生)



新しい年を迎え、早四回目の干支を迎えまし

た。

近年、テレビや新聞などで災害や、ショッキングな事件が毎日のように報道され、また追い討ちをかけるように不況の波が押し寄せ、なにかと暗い出来事が続いている気がします。そんな時こそ、しっかりと地に足をつけていきたいらと思ひます。これから自然豊かで周りの人々と温かいつながりを持つこの地域で年齢を重ねていきたいらと……

絆

井上 茂

(昭和49年生)



自分がこの世に生をうけた昭和四十九年は

第二次ベビーブームであり、この南山見地区にもたくさんの子供がいました。自分自身が子供の親になったこともあり、最近自身の幼少の頃を思い出すことがあります。当時は、子供同士で毎日のように夕方遅くまで外で遊んでいました。泥んこになり笑ったり泣いたり楽しい思い出ばかりです。その頃に比べて子供の数も減り、外で遊ぶ様子もあまり見かけなくなつたのは寂しく思ひますが、これも時代の流れなのでしょう。

ですが、南山見地区の豊かな自然環境と地域住民の温かさは、自分が子供の頃と何一つ変わりません。これからもこの良き風土を守つていけるよう自分も「家族との絆」「人との絆」「地域との絆」を大切にしながら日々過ごしていきたいと思ひています。

切磋琢磨

林 倫則

(昭和37年生)



時の経つのも早いもので、今年で五回目の虎年を迎えました。メディアでは昨年に引き続き金融不安による事柄や悲しいニュースが

世間を駆け巡っています。まだまだ暗い雰囲気の中ですが、この南山見地区は自然豊かで、文化的で地域社会のつながりが強く、その中で温かさを感じながら暮らせるところであると思ひます。歳を重ねるにつれ体力・気力ともに衰えていきますが、健康に留意し、これからも日々切磋琢磨しながら仕事に励み、また地域社会の為にも頑張つていきたいと思ひます。

新年を迎えて

武田 幸子

(昭和37年生)



年が明けて五回目の寅年を迎えました。

毎年頂く年賀状ですが、近年我が子の写真が減り、夫婦の旅先でのほのぼのとした写真や、今年はフリフリに着飾つた愛犬の写真、子供の結婚や健康に関する一言が添えられていたりして、時の流れを感じなければいけない時期に来ました。時間にゆとりが出てきたし、これからは我が家の健康管理に更に気を配り、助け合い仲良く一日一日明るく過ごしたいと思ひます。

還 暦

池田隆志
(昭和25年生)



今年で六回目の寅年を迎えさせて頂きまし

た。これもひとえに家族や地域の皆様のおかげでここまでやってこれたと感謝しております。今振り返ってみれば会社の仕事、農業、日常生活に追われあつたという間の六十年だつたかと思ひます。六十歳といつてもまだまだ老け込んでゐるわけには、いきません。この年代になると、病院でよくいわれることですが、「何か身体にいいこととしておられますか」と聞かれ即座に返答出来ないのが現実です。身体は大切な資本、健康のために適度な運動、ウォーキング等で、健康管理に気をつけたいものです。この還暦を、人生の節目とし生活の中において感謝の気持ちを忘れず健康で、充実した日々を過していただきたい。又、地域の活動にも参加し微力ながら地域の活性化に貢献出来ればと思つてい

体 験

前川真介
(昭和25年生)



遠い先のことと思つていた還暦を迎えよう

とは……。この60年間、農村社会からサラリーマン社会へ、高度成長からバブルそしてデフレへ、又、テレビ・車の普及やパソコンに驚いていたらたちまち携帯電話やハイブリッドカーやIT社会へ……。先祖や子供達のそれぞれの人生があるが、自分達の世代の60年の人生で、平和の中、「時代の両面」を体験できたことは、他の世代にはなかつた貴重な面白い人生だつたと感慨や大である。新しい暦が始まる。「もしこれが生まれて初めて見るものならば」、「もしこれが二度と見れないものならば」と、これからの一つひとつの体験を大切にしていきたいと思う。

寅年に寄せて

武田正治
(昭和13年生)

家族や地域の皆様の支援を受け、おかげ様で今年七巡目



の寅年を迎えることができて感謝の気持ちです。

これまでずっと建築の仕事をして頂いていたのですが、今では気の向くままの生活を送っています。

今日まで大過なく健康で過ごすことができたのが何よりの私の宝です。これからは、友達や家族とドライブや旅行、好きなゲートボール、ペタンクやマレットゴルフなどを楽しんでいきたいと思つていま

す。寅の年にはたびたびドラマチックな変化が起こるといいますが、この年が平穏な一年であつて欲しいと願つていま

ことしもしも

前川悦子
(昭和13年生)



年を重ねて、はや七回目の寅年が巡つてき

ました。三十年余りの仕事から解放されて、十五年余り、退職当

時は、「悠々自適」「晴耕雨読」の日に憧れていたのに、これまで実現することもなく、外

仕事と家事に追われながら、休憩の大好きな日々を送ることになりました。

寅年を迎えたからと、変わることもなく、多分、今年も同じように過ごすだろうと思

います。外仕事といつても自分のできることは、ほんの些細なことだけど、それでも先祖から受けついで田畑を守り、次の世代に渡すことが私のなすべき務めと考へて頑張りたいと思つています。

健康で生かされていることに感謝しながら、また、一年を生きていこうと考へていま

八十五年をふり返つて

江守良進
(大正15年生)



男性の平均寿命を遥かに超え、ここに八回

目の寅年を迎えさせて戴きましたことを大変嬉しく思ひます。

八十五年の永い人生の歩みの中で、色々と起伏がありました。加えて、食糧難の時代

に供出割当てで米の強制出荷を強いられた厳しい時期のあつたことを忘れることができません。時代は大きく移り変わり、いまはお蔭様で家族をはじめ地域周辺の皆様方の温かい支

えがあつて今日まで長生きさせて戴いております。

これからは、残された人生を健康に留意し一日一日を大切に感謝の気持ちを忘れずよりよい人生を送つていきたいと思つております。

寅年を迎えて

松井末枝
(大正15年生)



振り返れば、いつの間にか八回目の寅年を

迎えており、お陰さまでこの「八乙女」に載せていただくのも二度目となります。

寅だけに、何事にも負けな

い様に頑張ろうと思ひながら過ごしてまいりました。若い頃に富山で就職して

いて、大空襲で一面焼野ケ原になったときのことなどが思い出されます。これからも、新しい夢を持ちながら感謝の気持ちを日々込めて、いつでも、どんな時も笑顔で生きたいですね。

第32回 地区八乙女文化祭

第32回地区八乙女文化祭が11月15日に開催されました。二日前に特設ステージや展示パネル等会場準備に各種団体役員方のご協力により設営も完了しましたが、当日はあいにくの肌寒い天候となりました。

特設ステージでは「防災講演会」があり、井波庄川出張所長 寺西孝志氏の講演の後、保育園児達の歌や踊りを皮切りに、各地区の児童クラブが考え、一生懸命練習してきた出し物、各種グループの踊り、大正琴、合唱等の発表がされ、来場者の方々から大きな拍手を頂きました。

んぼ学級等の皆さんの模擬店コーナーで来場者の方々が舌鼓を打っておられました。今年には地区で採れたコシヒカリ、大豆の数当てクイズも実施されて大勢が挑戦致しました。コシヒカリ、大豆共小学生の山本ゆうと君と吉田海音くんがピタリ賞でした。寒い一日でしたが、皆様のご協力により、盛大な文化祭となりました。

(児童クラブ 篠原正之)



花壇づくり

十二月十三日に「児童クラブ、井波花とみどりの少年団」で花壇づくりとクリスマススの集いが計画されました。児童のみなさんも楽しみにしていました。今年流行のインフルエンザで学校より集団の行事にス

トップがかかり、止むなく中止となりました。花壇づくり、球根植えは「花と緑の銀行」「児童クラブ」役員の方々により行われました。春にはきれいな花を見せてくれると思います。インフルはいろいろな所で影響を及ぼしているのを痛感!! 健康には十分注意してくださいね。(事務局)



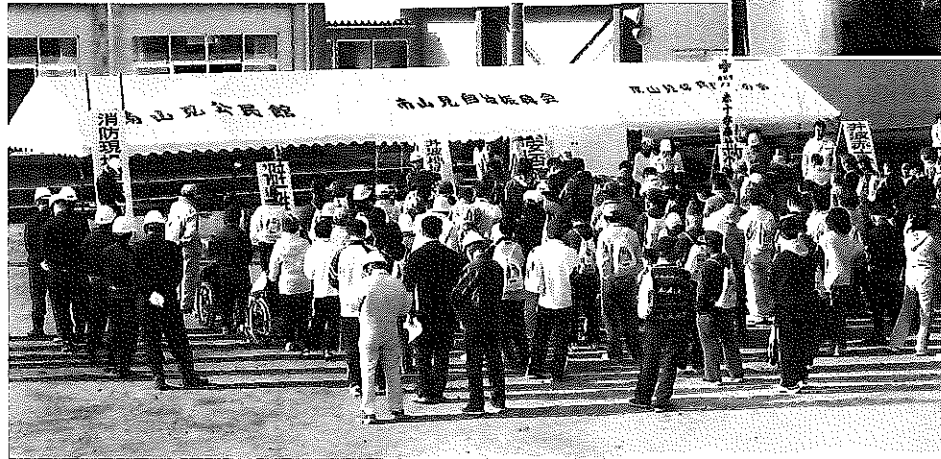
平成21年度 安心・安全な地区 南山見地区防災事業を実施して

昨年度、南砺市の「がんばる自治振興会応援補助事業」として南山見地区において安心、安全な地域づくりを目指し、地区住民が防災意識の高揚を計ることを目的にした防災事業三ヶ年計画を立案し、認可をいただき、今年度も、防災訓練を10月25日に実施致しました。

高清水断層が活動し井波地域でマグニチュード7.0、震度6強の地震発生を想定して、今年度は特に当地区の比較的民家が連たんする中山間地の集落を対象と致しました。地区の町内会、各種団体及びマーンシ園、日赤奉仕団を交



えた会合を数回開催し、地震災害時の防災訓練の大切さを確認しながら協力を呼びかけました。当日住民は地震発生の報を受けてから第一次避難所へ集合、安否確認を行い、地区の指定避難所へ集結、同時に日赤奉仕団の協力をいただき炊き出し訓練もさせていたいただきました。中山間地とする院瀬見地区284名、東城寺69名、清玄寺39名、連代寺76名、志観寺38名の安否確認とともに全住民1167名の安否確認も行い、礪波広



域南砺消防署井波庄川出張所長 寺西孝志様の講評を受け終了しました。防災避難所用テント一張、発電機、コードリールそれぞれ一基を備品とし、又各戸に防水ライトを配布致しました。防災講演会は11月15日(日)に南山見地区八乙女文化祭に南砺消防署井波庄川出張所

長 寺西孝志様を講師に「近年の災害と自主防災組織の役割」と題して御講演いただきました。南砺市の平成20年7月28日の大雨水害の被害の大きさ、又21年1月4日の火災事故死6名の件などの話もあり災害の恐さを痛感されたと思います。

南山見地区には町内毎の自主防災組織は出来ていますが、地区としての組織はまだ確立していません。この機会に取り組み、安全、安心な地域づくりをめざし、更に地区の皆様様の御協力と御理解をお願い致します。
(南山見自治振興会 澤田武夫)

新年の集い



南山見地区は、自治振興会を中心に防災に努める活動を進めており、地区に住む私達もより一層防災に対する知識の習得と実践に励みたいものです。
(池田喜昭)

新春恒例の「南山見地区新年の集い」が、一月四日(月)午後四時より、南山見地区住民が集い、公民館で開催されました。会は、才川市議、竹谷井波行政センター長のあいさつの後、祝宴が始まり、出席者相互の親睦と、地区における課題等について意見交換し、楽しい一時を過しました。

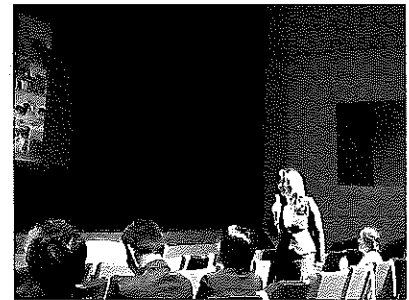
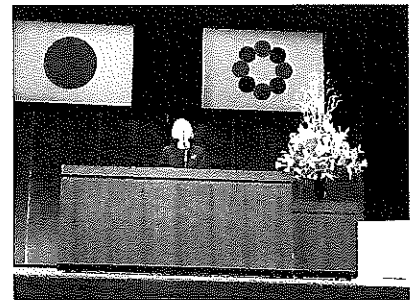
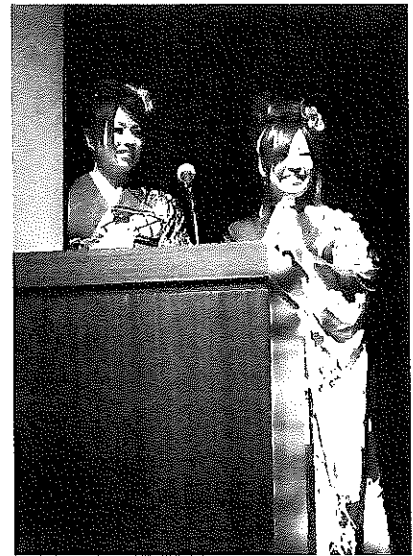


成人をお迎えるみなさん おめでとうございます

井波地域成人式は、1月10日（日）に井波総合文化センターに於て盛会に行われました。

菘口勝美教育委員はじめ大勢の御来賓、御家族にも御来場いただき、予報は雪となって寒い日でしたが、真冬日としては案外、好天に恵まれました。それぞれに晴着姿の成人者は受付を済ませ、式典会場へ。久し振りに会った友達と話が弾みとつてもにぎやかで微笑ましい雰囲気です。御来賓より激励のお言葉をいただき、交通安全宣言で式は締めくくられその後は、成人の皆さんの企画で小学校、中学校の恩師の先生方にも御参加いただき「成人者の集い」が始まりました。学校での思い出がスクリーンに映されると歓声上がり、先生方より御祝いの言葉をいただき、心に残る成人式だったと思います。今年も公民館よりささやかな記念品を進呈致しました。

(事務局)



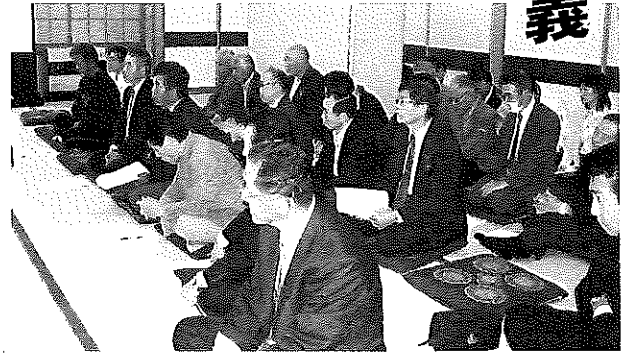
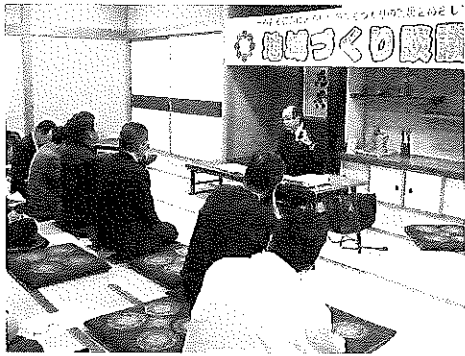
地域づくり談義

11月6日、南山見公民館和室において、田中市長との対話集会「地域づくり談義」が開催されました。

市長から市民協働に向けた体制づくりや、地域力を高めるためアドバイザー・書記制度の支援策について提案がなされました。その後、参加者から要望や質問・提言がなされ活発な意見交換の場となりました。

主な内容は次のとおりです。

- ・職員のみならず議員、特別職の給与カットについて
- ・大谷川の砂防堤防の増設、林道の落石防止対策について

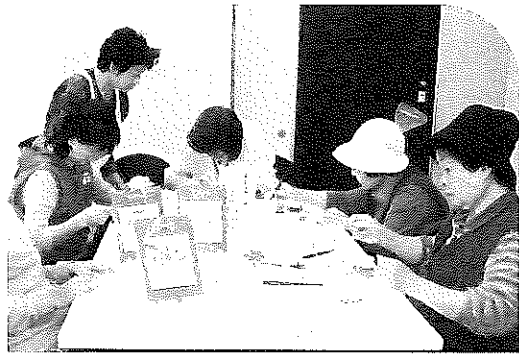


- ・南砺市としての一体感の醸成について
- ・林道赤祖父線の観光活用について
- ・都市部からの山林保護への参加協力について
- ・下水道料金の値上げについて
- ・保育園の統合問題について

他に、集落の弱体化に対する課題提起なども出されました。

また、本年度において公民館の耐震診断が実施されており、その結果に基づいて補強工事等が実施されることも説明がありました。

(事務局)



南砺市 第2回 公民館まつり 開催

第11回 南山見地区町内対抗

スーパーキックベースボール大会

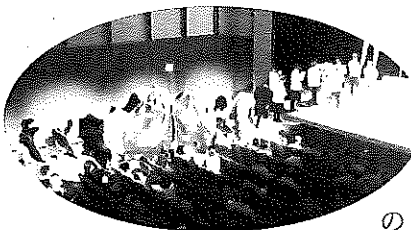
10月27日(火)に恒例の町内対抗スーパーキックベースボール大会が開催されました。

天候の悪い日が続き、グラウンドの条件も余り良くない中ではありましたが、楽しく賑やかな大会となりました。

1位 谷チーム 2位 沖チーム



十月四日(日) 第二回南砺市公民館まつりが、今回は「じょうはな座」にて開催されました。館内に於いて、南砺市31公民館の活動内容や各地区のかくれた名所などがパネルで紹介されました。又、御茶席、体験コーナー等で賑わい、屋外では、城端とっておきツアーや、庁舎前では、各地区の特産物の販売、食改の皆さんの試食コーナー等も賑わっていました。



※南砺市合併五周年を記念して高井 進氏(富山近代史研究会代表)の記念講演会も開催されました。(事務局)

井波地区からは、里芋おやきの紹介、即売が行なわれ、午後にはホールに於いて郷土芸能共演会が行なわれ大勢の皆さんの御来場をいただきました。井波地区より鳳鳴クラブの雅楽演奏が披露されました。



初釜

保育所の

昨年十二月のおけいこで初釜は、南山見公民館ですること約束していただいたのに、年末からの大雪。でも、一月十二日の初釜は、週末から天気も良くなりほっと致しました。

子供達は、まず公民館の玄関で私達の雪下駄や草履を見て着物の時の履き物について教わり、また、和室へ入ると結び柳や床の掛物



花、香合と見て廻り炉の炭火や大きな釜、手前座の棚、水差しを目を輝かせて見ていました。まず年長さんがお菓子をお運びです。おとなりさんへ「お先に」のあいさつをしてみんなでいただきました。次は年長さんがお茶を点て年中さんからいただくのです。最後はみんな楽しんでます。先生方にも飲んでいただきました。十一月頃より、年長さんも年中さんも一緒においこしているの、年長さんが「くーんと成長したな」とうれしく思った初釜でした。

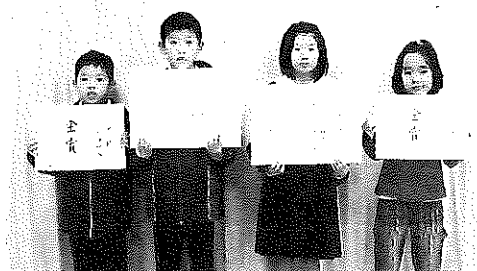
(お茶同好会 亀田)

受賞 おめでとう ございます

平成21年11月22日、23日に金沢市アートシアターいしかわに於て、第53回現代学生読書大会が開催されました。当南山見少年研修館書道教室からも出品致しました。成績は次の通りです。



- 秀作賞 前田真唯さん
- 特選 山田太一さん
- 金賞 箭原希美さん
- 山田理人さん



ご寄附

一、金参万円也(備品として)
南山見婦人会様
ありがとうございました。

編集後記



昨年12月中旬から続く降雪により、一月初旬には、もう県内のほとんどの市町村で除雪費が不足して追加を余儀なくされたとのこと。暖冬予測で除雪費が少なく見積りされたのだろう。今年はどうなるのだろうか。政治・経済・毎日目が離せない。その中、池田悠里ちゃんの笑顔は、多

南山見人口

男	568人
女	583人
計	1,151人

平成21年12月31日現在

くの人達の善意に支えられ心温まる話題である。今年はずいぶん穏やかでありますように願わずにはいられない。(M)

行事予定

2月9日(火)午後7時30分より

平成21年度「公民講座」

講師 元県議会議員 北島秀一郎氏

演題 「新しい時代を生きるために」

2月28日(日)午前9時より

第21回 南山見地区「三世代交流の集い」